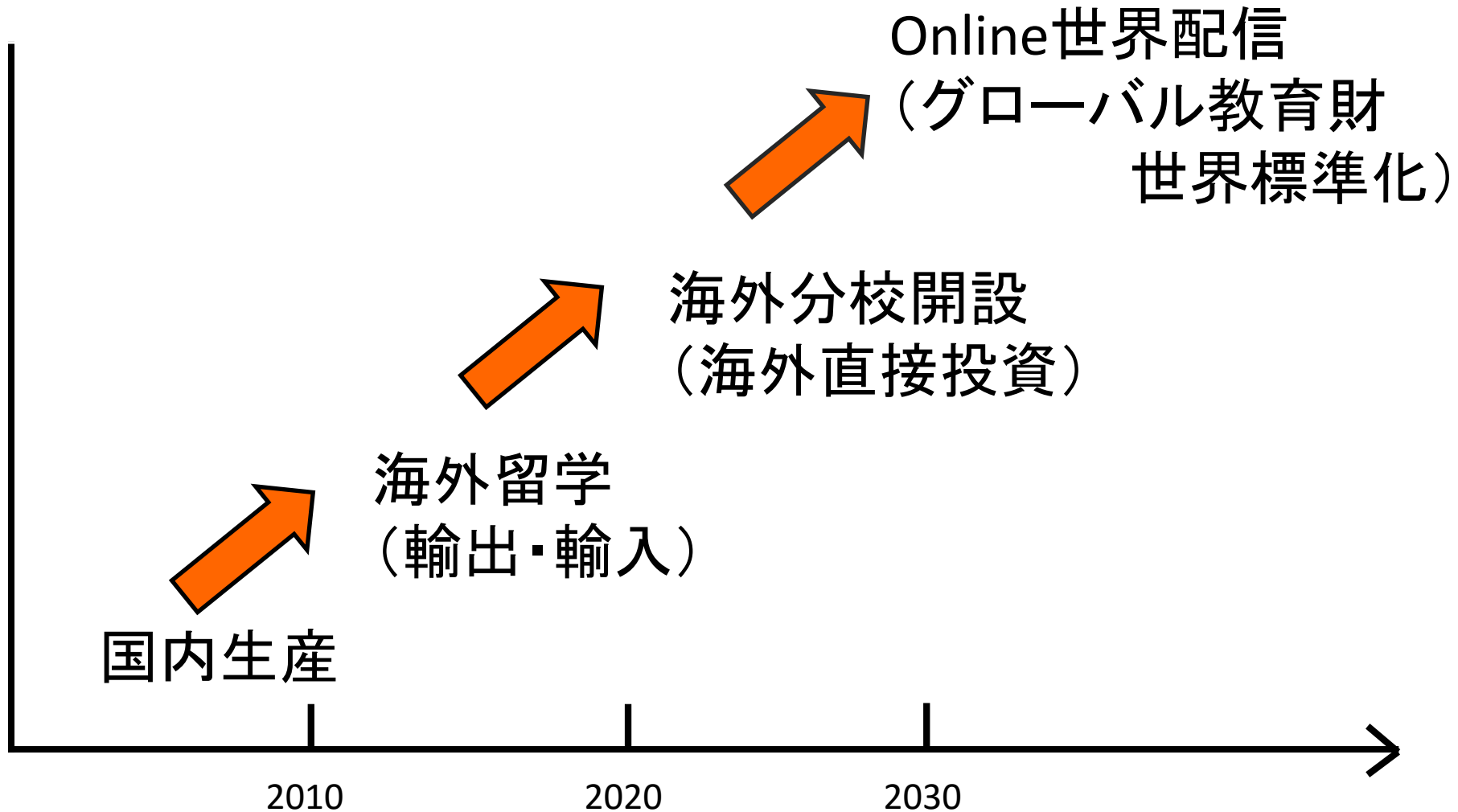


2040年に於ける大学教育国際化 —視覚化の試み—

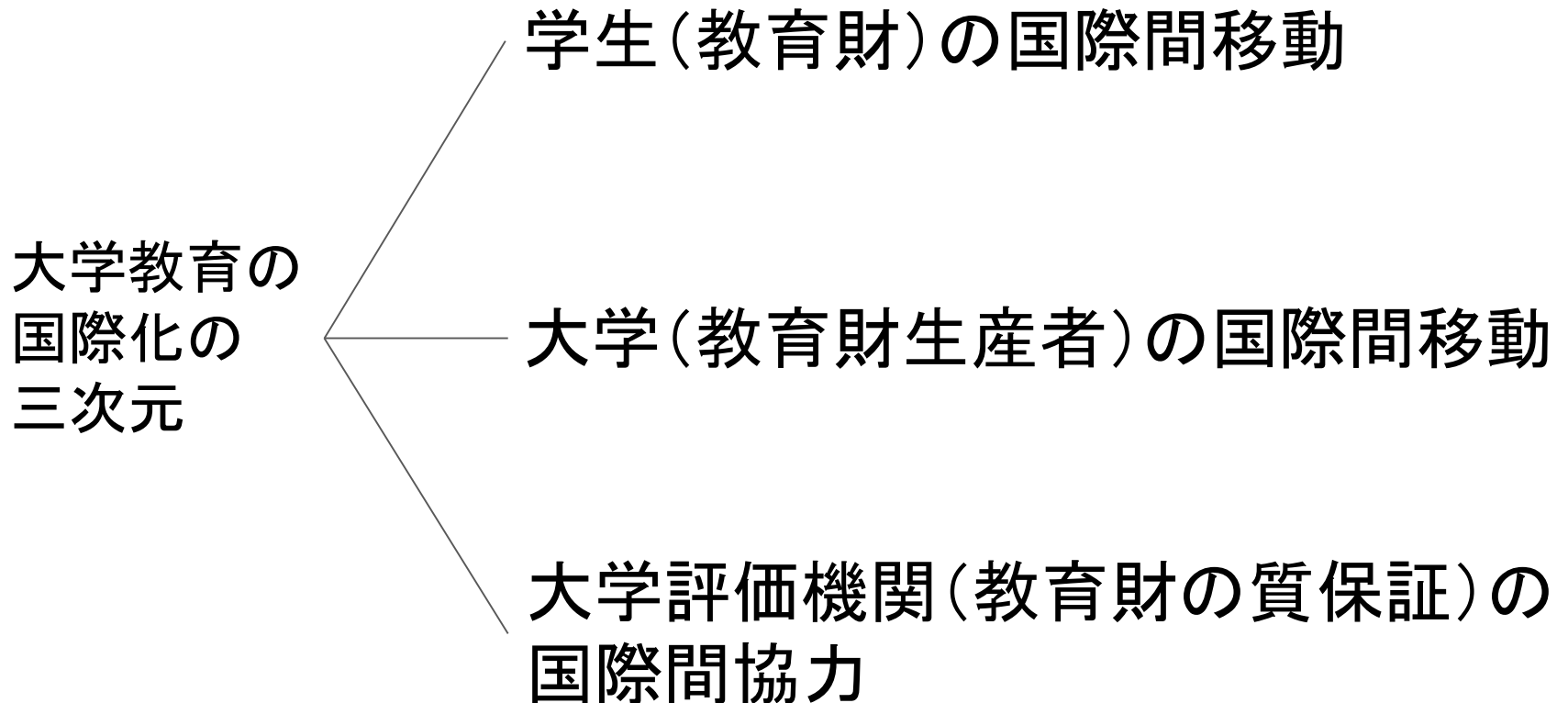
公立大学法人国際教養大学

理事長・学長 **鈴木 典比古**

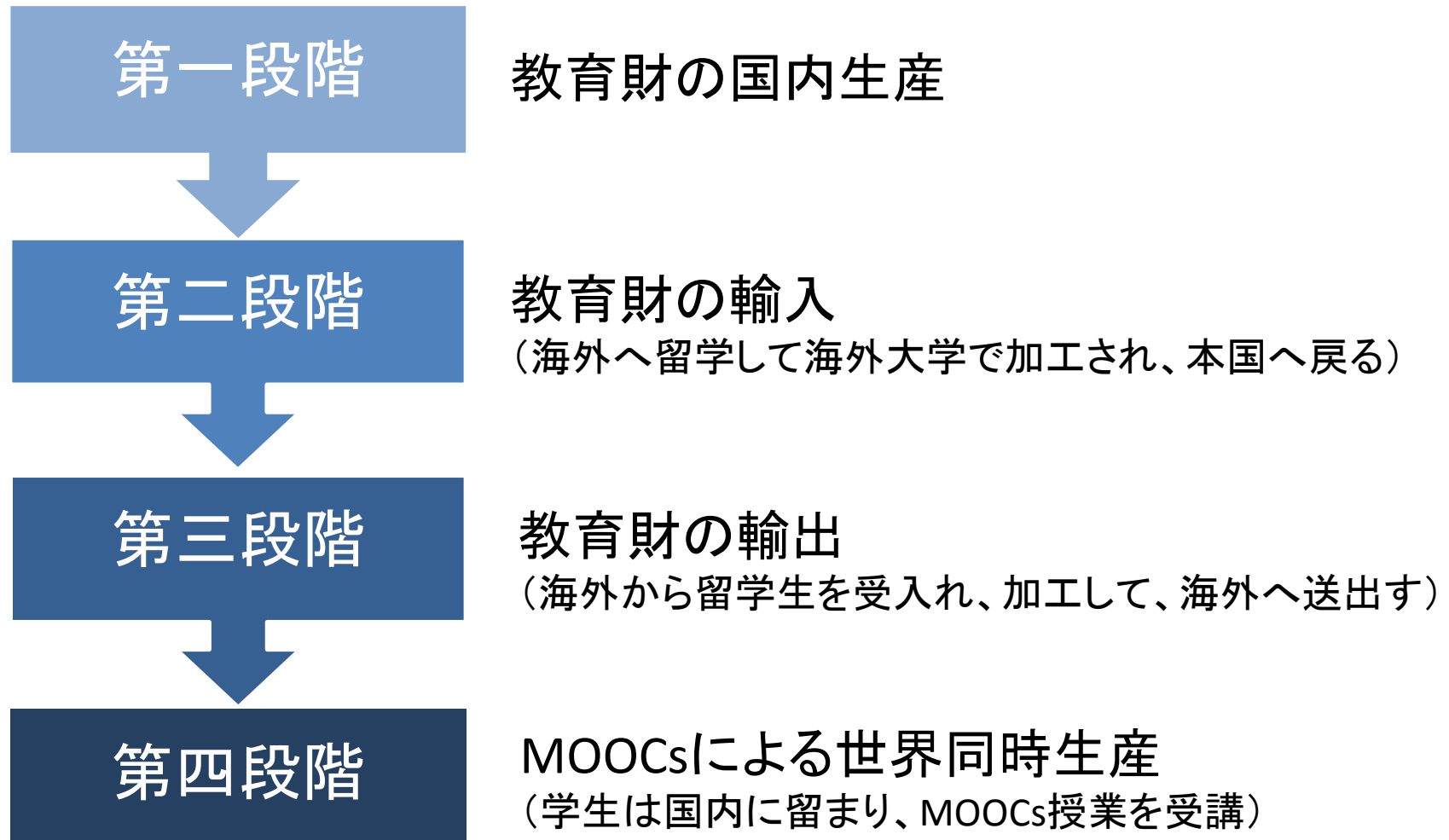
高等教育財のグローバル生産軌跡



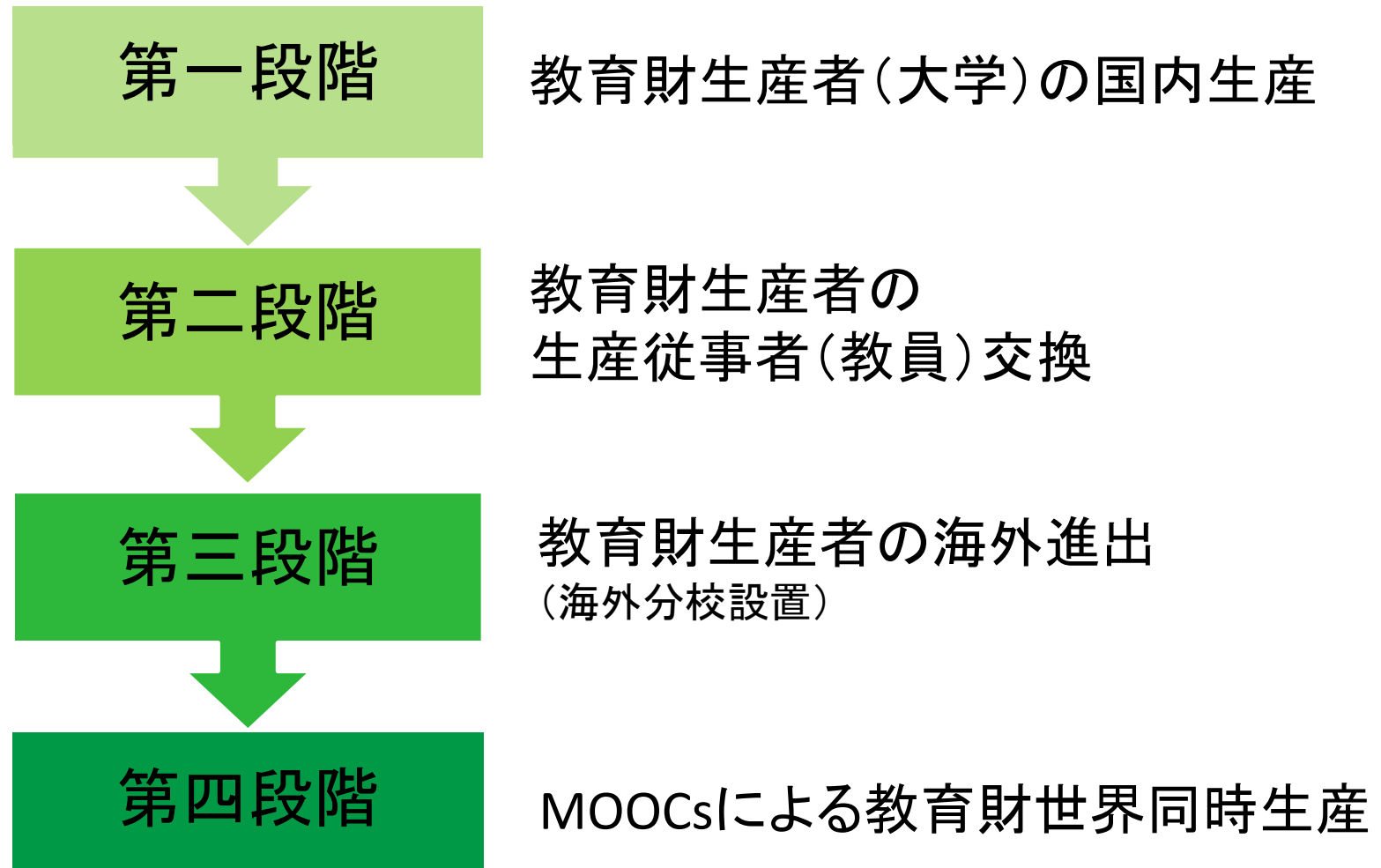
大学教育国際化の三次元



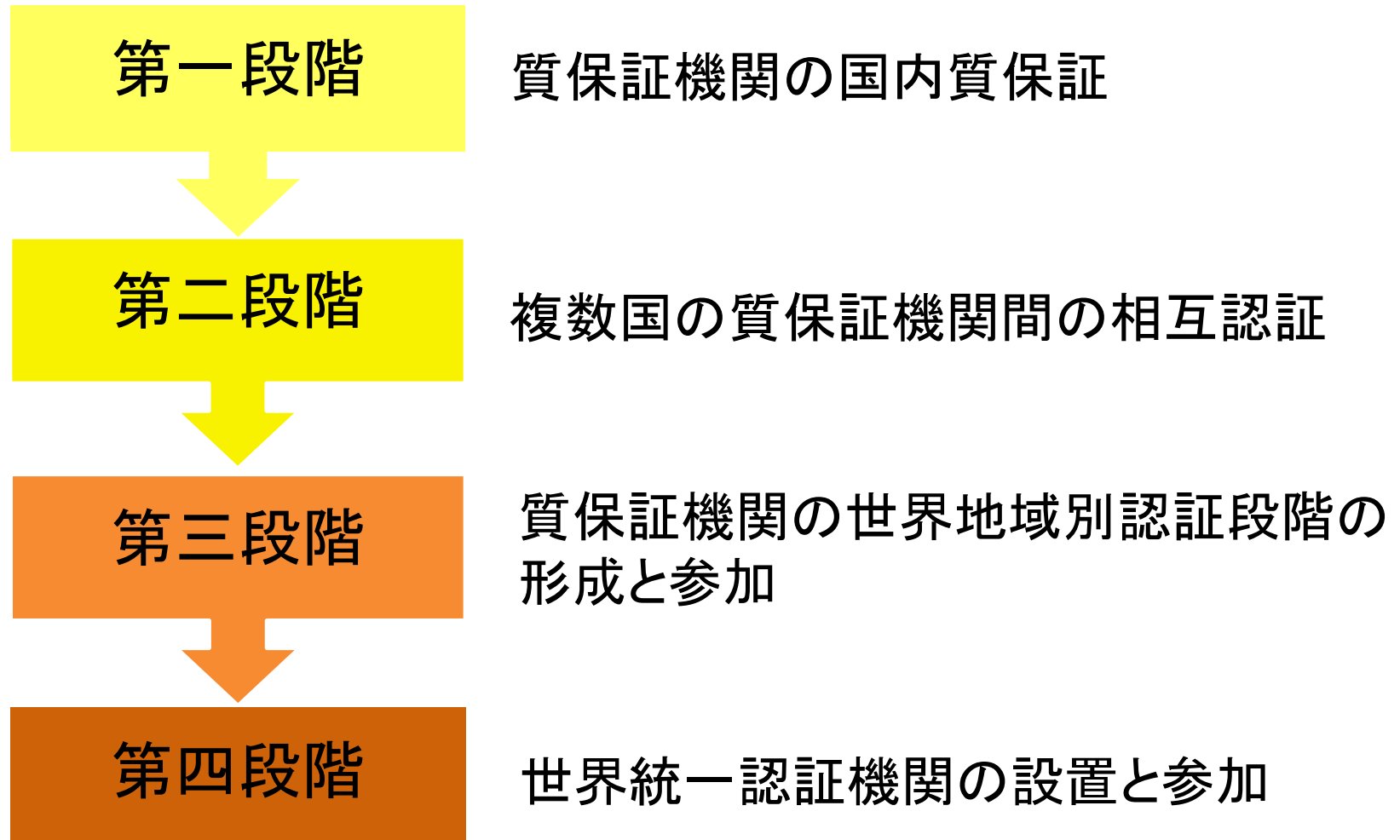
学生（教育財）の国際間移動の諸段階



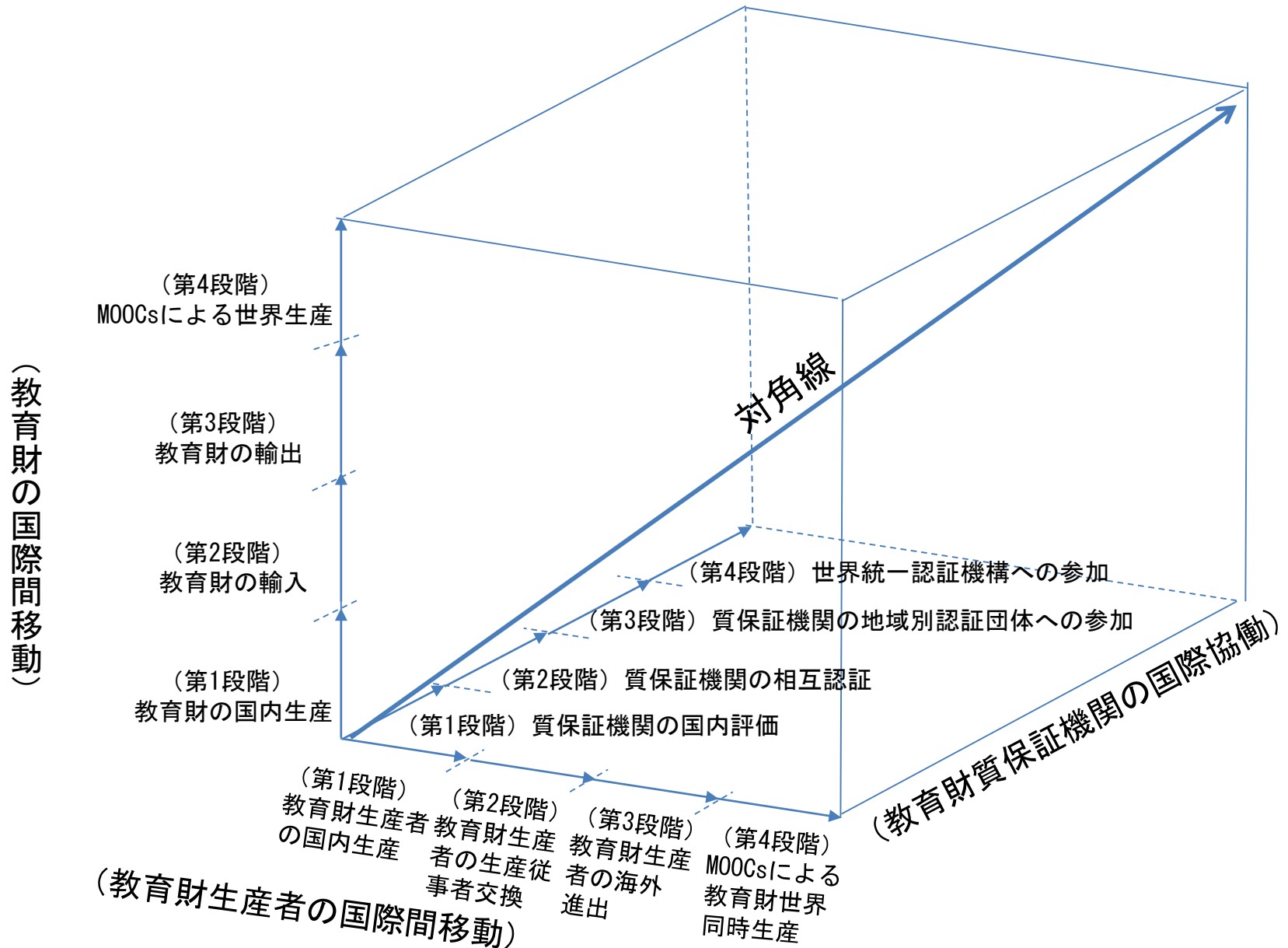
大学（教育財生産者）の国際間移動の諸段階



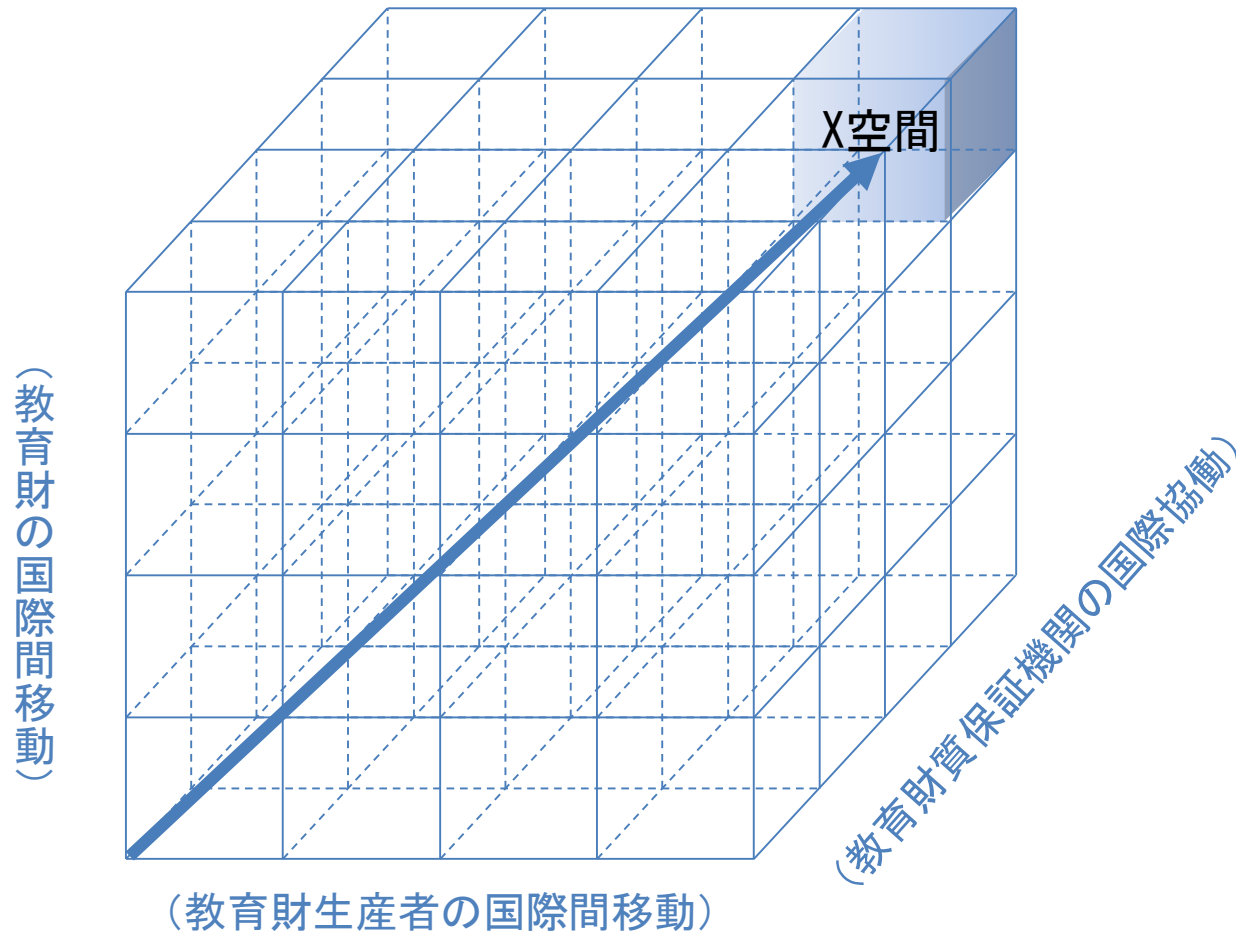
大学評価機関（教育財の質保証）の国際間協力



大学教育国際化の三次元空間

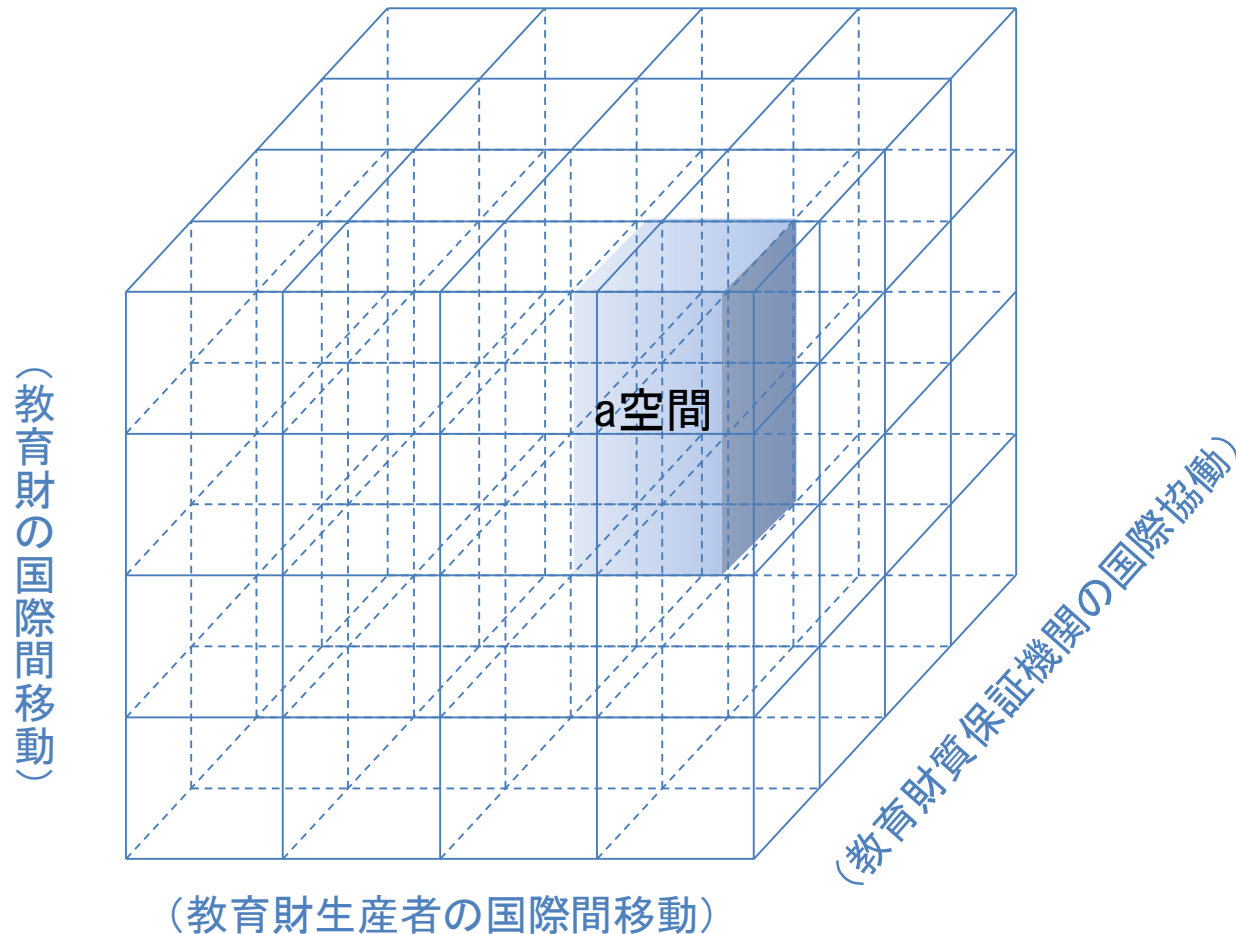


大学教育国際化の究極 — X空間



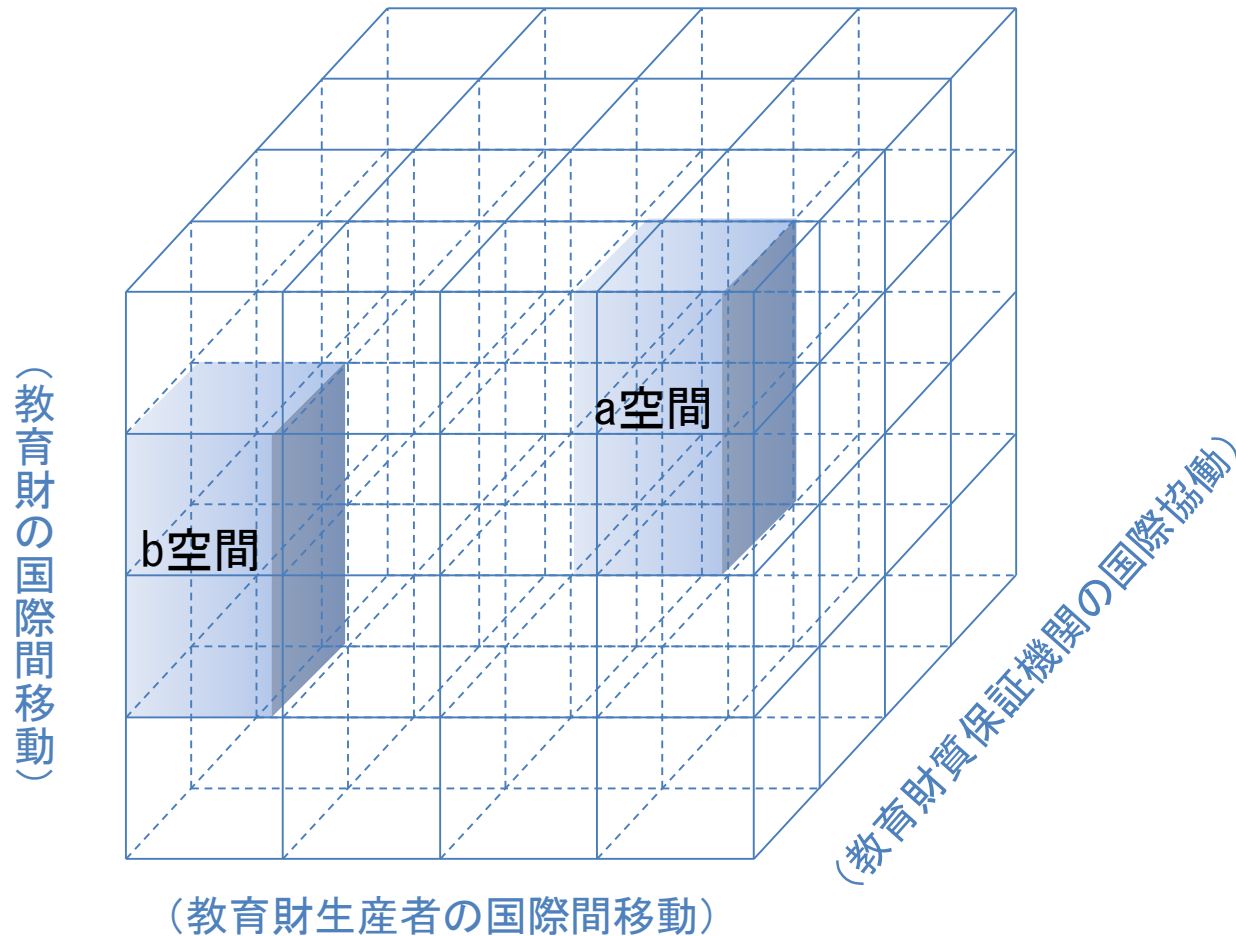
- X空間では:
- (1) 教育はMOOCsによって行われ教育財は国際間移動しない
 - (2) 教育財生産者はMOOCsによって教育を世界発信し、
教育財生産者は国際間移動しない
 - (3) 世界で統一化された認証基準による世界の大学の認証評価

大学教育国際化の現段階 — a空間



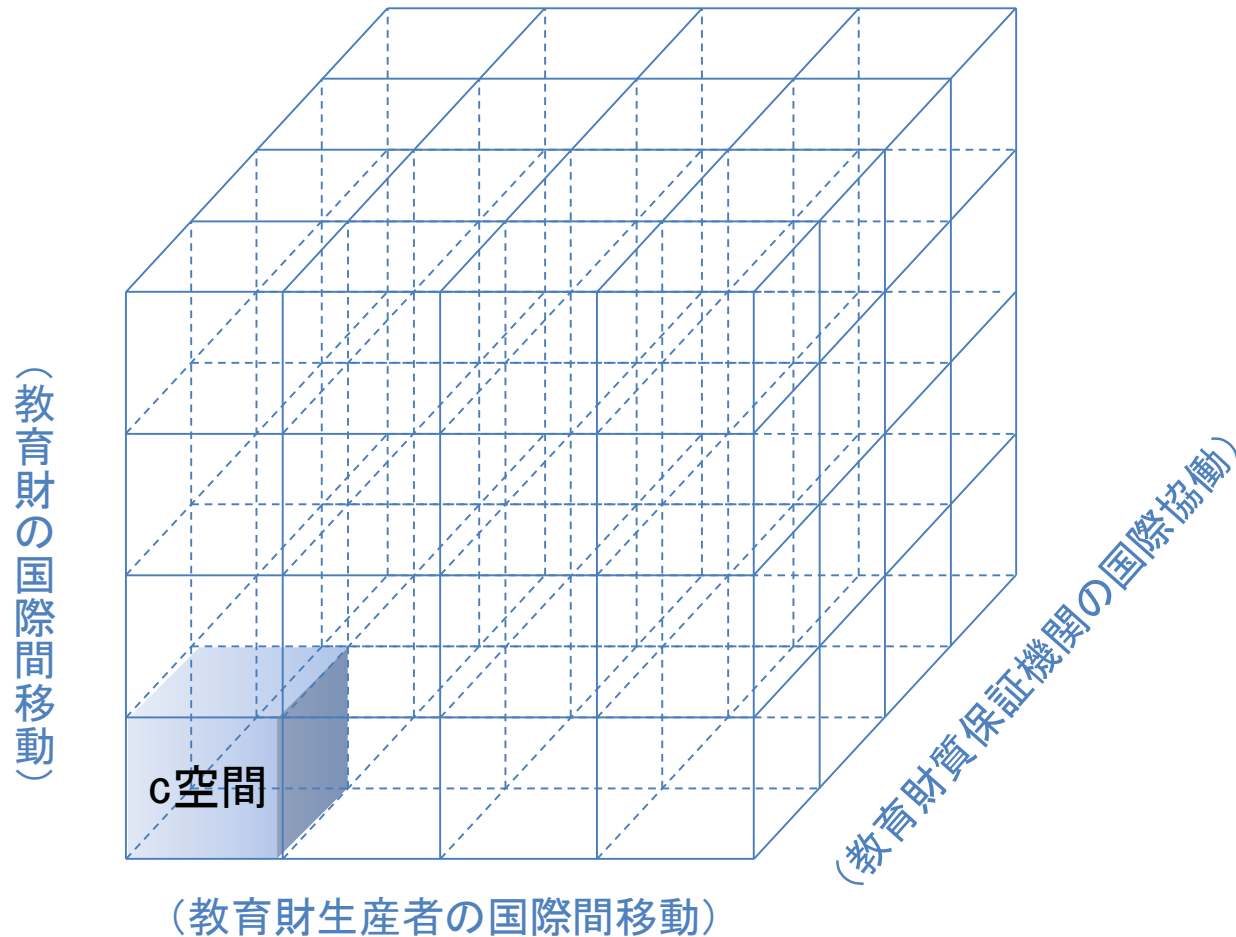
- a空間では:
- (1) 教育財の国際間移動は第二段階から第三段階に進みつつある
 - (2) 教育財生産者の国際間移動は第三段階にある
 - (3) 教育財質保証機関の国際協働は第三段階にある

日本の大学教育国際化の現段階 — b空間



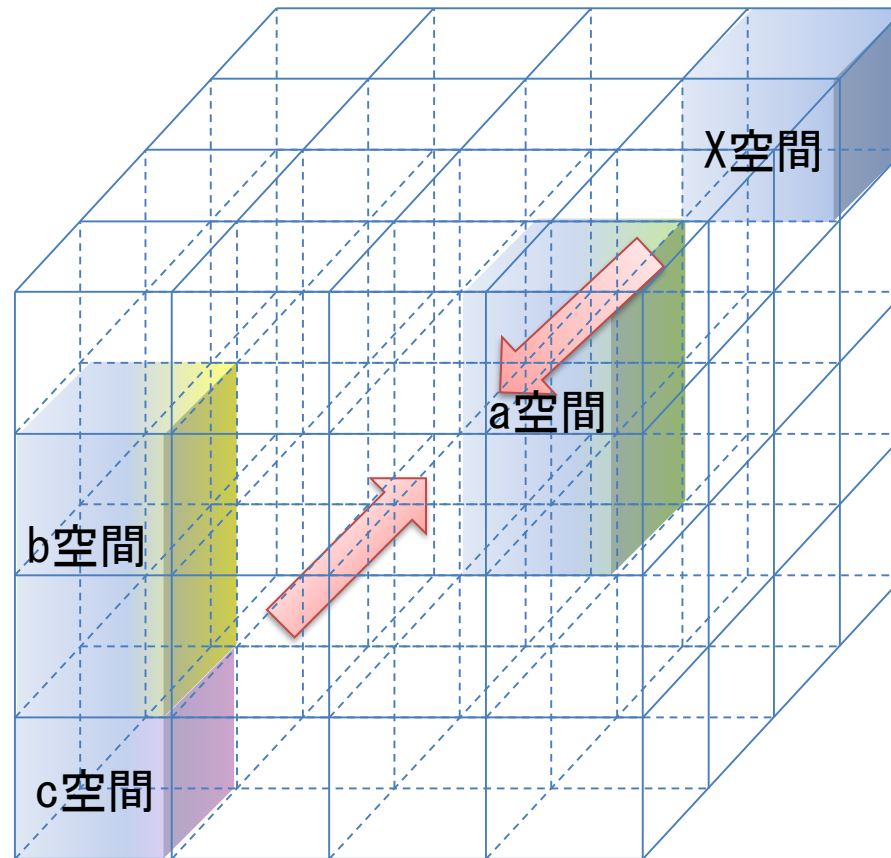
- b空間では:
- (1) 教育財の国際間移動は第二段階から第三段階に進みつつある
 - (2) 教育財生産者の国際間移動は第一段階にある
 - (3) 教育財質保証機関の国際協働は第一段階にある

公立大学の現段階



- c空間では:
- (1) 教育財の国際間移動では第一段階にある
 - (2) 教育財生産者の国際間移動は第一段階にある
 - (3) 教育財質保証機関の国際協働は第一段階にある

2040年の大学教育—MOOCsと現地教育の混在と統合



必要とされる努力課題

- (1) 教育内容レベルの世界標準化をどうするか
- (2) 使用言語の統一化をどうするか
- (3) キャンパス・コミュニティをどう創造するか
- (4) 国の教育という考え方をどうするか